

それ「アルコール依存症」 じゃないですか？

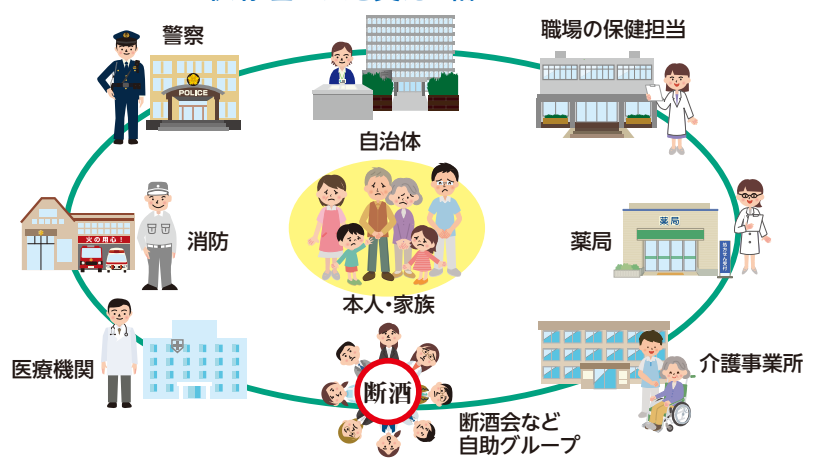
アルコール依存症とは、意志の弱さや性格によるものではなく、脳の変化によって自分で飲酒をコントロールできなくなった状態をいいます。多量飲酒を続けると、がんや消化器疾患、脳卒中、精神の行動の障害など、全身に影響を及ぼすだけでなく、家族や職業生活にも深刻な問題を招くことがあります。自分のため、そして周りの人のため、アルコール依存症という病気について今一度考えてみませんか。



飲酒によるトラブルで 困っている人はいませんか？

四日市市では全国に先駆けて「四日市アルコールと健康を考えるネットワーク」を立ち上げ、多機関でアルコール問題に取り組んでいます。アルコール依存症は否認の病とも言われ、受診を拒否することも少なくありません。家族や周囲の人が依存症かもしれないと感じたときは、一人で抱え込まず、まずは専門医や保健所、関係機関に相談してください。

アルコール依存症の人を支える輪



専門医療機関にお話を伺いました

気軽にご相談ください

当院では、一般的な精神科で行っている診療のほかに、アルコール依存症の人を対象に院内の自助グループをつくっていて、週に1回断酒会などの人を呼んで、ミーティングを行っています。初めて受診した人はアルコール依存症に対して罪悪感を持っていることもあるので、お酒を飲んだことをあまり責めず、お話を聞かせていただいています。11月14日に総合会館で「アルコール関連問題の相談」を行います。本人が行きたがらない場合は家族の人だけでも結構ですので、誰でも遠慮せず気軽に来てください。



総合心療センターひなが
診療部医師
近藤康史さん

人対人の治療

精神科で対応する他の病気は薬が重要なのですが、アルコール依存症は、人対人で自身の飲酒の問題と向き合って、正直に語り合うことで治療が進みます。いわば、人が人の中で回復していく病気なのです。

お酒をやめることで自分の人生を取り戻して、今をすごく楽しんでいる人が大勢います。当院に来ていただいたり、断酒会に参加していただいたりすることで、そういう人たちと触れ合って、「こうやって人生を取り戻しているんだ」「アルコール依存症は回復可能なんだ」と知ってもらいたいです。



総合心療センターひなが
看護部部長
毛利恵理さん

精神科医によるアルコール関連問題の相談

日時:11月14日(水) 10:00~12:00、13:00~16:00
場所:総合会館7階 相談室
※11月9日までに予約が必要です。保健予防課までご連絡ください

11月10日~16日は
「アルコール関連問題啓発週間」です